

まちの話題あれこれ

ひょうたん島がやってきた！

NHKふれあいミーティング「甦れ！ひよっこりひょうたん島」が4月28日（土）、大槌町中央公民館で開催され、子どもからお年寄りまでたくさんの方が会場を訪れました。ゲストには、声優を務めた熊倉一雄さん（トラヒゲ役）、松島トモ子さん（マリー役）、また井上ひさしさんの娘さんである井上麻矢さんが登場。制作の思い出話や、大槌の蓬莱島を見た感想、被災した町へのメッセージなどを語りました。後半には、ひょうたん島の大合唱や吹奏楽による演奏などが行われ、会場は大変盛り上がりしました。お見送りにはトラヒゲの人形が参加。子どもたちはもちろん、子供のころを思い出しながらお父さん、お母さんたちも握手を交わしていました。



吉里吉里小で交通安全教室

4月19日（木）、吉里吉里小学校において、釜石警察署大槌交番警察官と大槌交通指導隊の指導による交通安全教室が開かれました。この教室は、児童たちの安全な行動、安全な生活に対する態度や習慣を養うことを目的として行われています。この日は、登下校路を実際に歩いて訓練する予定でしたが、悪天候のため、児童は室内で安全な自転車の乗り方について指導を受けました。指導の後は、各学年の代表から感想が発表され、子どもたちは改めて交通安全や生命の大切さについて理解を深めていました。

子どもたちのデザインした遊具をお披露目

5月3日（木）、公益財団法人日本ユニセフ協会から寄贈された遊具のお披露目式が和野っこハウスにて行われました。この遊具は、大槌町の子供たちがデザインのアイデアを出し合ったもので、2種類の遊具がそれぞれ和野っこハウス前、三枚堂エールサポートセンター前に設置されました。この日は、デザインを採用された子どもたち（写真左から、関谷大成さん、越田伊吹さん、越田伊織さん、関谷湧真さん）も参加。あいにくの雨で、遊具で遊ぶことはできませんでしたが、自分たちが色づけした遊具の写真を手に、満足げな笑顔を見せていました。



パッチワークで町の未来図 老人クラブ女性メンバーが贈呈

4月27日（金）、大槌町老人クラブ連合会の女性7名が、碓川町長にパッチワークを手渡しました。この作品は、復興に向け町の人に戻ってくるきっかけになるように、と願いを込め、大槌町の未来図をテーマに作られたものです。

碓川町長と老人クラブのみなさんは、町を描いたかわいらしいパッチワークを眺めながら、大槌の復興について想いを語り合っていました。



秋田県立大学と協定を締結

5月10日（木）、大槌町と、秋田県立大学、木材高度加工研究所との連携協力協定調印式が役場仮設庁舎において行われました。協定締結にあたり、碓川町長は、「木材を生かしたまちづくりをしたいという思いがあった。ぜひ協力いただき、世界にほこれるようなまちづくりをしたい。」と述べました。

今後の活動としては、仮設住宅団地の敷地内に木橋を設置することが決定しており、その他にも木材の加工に関する機能や人材の育成なども含め、これから支援していただけるとのことです。

